



ガーデンシティ舞多聞 てらいけプロジェクト 第1回公開講座

「ガーデンシティ舞多聞の住まいづくり」(神戸芸術工科大学学長 齊木崇人)

2009年11月29日(日)午前10時より、ガーデンシティ舞多聞 てらいけプロジェクト 第1回公開講座「新・田園都市とガーデンシティ舞多聞」(神戸芸術工科大学学長・齊木崇人)が行われ、22組30名の方に御参加いただきました。講義前にはUR都市機構の橋本氏より、講義後には神戸芸術工科大学準教授・

佐々木宏幸から今後のスケジュールについて説明がありました。その後休憩をはさみ、午後1時から、てらいけプロジェクト予定地の現地見学会が開催され、28組39名の方にご参加いただきました。UR都市機構の島岡氏を中心に現地説明が行われ、約1時間の現地見学が行われました。

新しい住まい方への提案「ガーデンシティ舞多聞」

【第1回】 てらいけプロジェクト

公開講座・現地見学会

開催のお知らせ



【お申し込み】

ご希望の方は、①氏名 ②連絡先 ③参加人数
④参加：公開講座・現地見学会のいずれかまたは両方を記入の上、FAXまたはE-mailにてご連絡下さい。
「舞多聞倶楽部」事務局
fax 0120-781-021 E-mail info@maitamon.jp



コーディネーター：齊木崇人

神戸芸術工科大学 学長
2001年から都市再生機構と神戸芸術工科大学との連携で進められた、「ガーデンシティ舞多聞・みつけプロジェクト」の総括デザイナーとして活躍。2007年には、みつけプロジェクトがグッドデザイン賞を受賞。

【公開講座・現地見学に関する問い合わせ先】

神戸芸術工科大学 (鎌田)
〒651-2196 神戸市西区学園西町 8-1-1
tel:078-794-5263/fax 078-796-2559 (平日 10:00-18:00)

主催：



UR都市機構



神戸芸術工科大学

KOBE DESIGN UNIVERSITY

第1回公開講座

「新・田園都市とガーデンシティ舞多聞」

本格的に活動を開始した、ガーデンシティ舞多聞 みついけプロジェクトのこれまでの概略と『てらいけプロジェクト』のこれからの方向性について話されました。

これまでの経過(みついけプロジェクト)

「田園都市思想」は産業革命末期の荒廃した英国における住環境の解決策として、1898年エベネザー・ハワードという初老の紳士によって発表されました。「田園都市」とは田園と都市両方の居住生活の長所を取り入れた概念で、形態的には自然溢れた人口3万人ほどの住宅地をグリーンベルト(緑地帯)が取り囲んでいるものです。この思想はこういった物理的な都市計画に留まらず、コミュニティや都市経営などのマネジメントに対する解決策が詳細に描かれていました。そして「ガーデンシティ舞多聞」の祖先ともいえる、世界で最初の田園都市レッチワース(英国)はこの田園都市思想を採り入れ、1903年に誕生しました。そして100年を過ぎた今もレッチワースは都市としての魅力や機能を失うことなく生き続けています。このレッチワースの100周年を目前に控えた2001年9月に、神戸市とつくば市で「新・田園都市国際会議2001」が開催されました。アジアや欧米の13カ国から延べ1500人の参加者を得、様々な時代や地域の都市計画やまちづくりが議論されました。そこでの成果は「新・田園都市コンセプトマトリクス2001」という「新しいコミュニティ」「新しいデザイン」を生み出すための18項目のコンセプトに集約されました。そして、「舞多聞 みついけプロジェクト」はこのコンセプトを基にして計画されました。

2001年10月、神戸芸術工科大学 齊木研究室ではまず「ガーデンシティ舞多聞」全体のマスタープランを提案しました。このプランは事業主である都市公団(現:UR都市機構)の賛同を得ることとなり、その後2001年1月には学園南地区の西端の一部地域において採用されました。その後、初期完成エリアでの提案が求められ、現在の「みついけプロジェクト」の地域においても大学が取り組むことが決まりました。都市公団と研究室の間で討議を重ね、2003年春にほぼ現在の敷地内道路計画や宅地配分のプランにまとめられました。なお、みついけプロジェクトにおいて低予算で良好な住環境を提供するために、初期のレッチワースと同様「定期借地権制度」が導入されることとなりました。

2003年4月に「舞多聞」計画地周辺の約4万5千世帯に、現在のみついけプロジェクトの内容を紹介したパンフレット共に、第1次アンケートの配布を皮切りに、大学主催の公開講座やUR都市機構との連携によるワークショップが開催され、住まう人々が目標とする住まいの価値観を共有し、定期借地権を活用したゆとりある住まいづくりを目指して議論が繰り広げられました。

その後より具体的な住まいのイメージを共有することを目的に、「住まいづくりのルールづくり」、研究室による「住まいづくりのサポート」やコミュニティ形成を目指した「コミュニティマネジメントの実践」、「まちづくりアドバイザー・エリアマネジメント」の実践事例を紹介し、みついけプロジェクトのこれまでの経緯を振り返りました。

また、みついけプロジェクトで実践してきた、「緑地管理ワークショップ」や「ネイチャーアート」など、数々のコミュニティ活動の実践事例を紹介し、みついけ南エリアと連携したまちづくり活動のネットワークについて、それぞれが自立したコミュニティを営みながらも、「舞多聞」全体のまちの質を向上に寄与している事例を紹介しました。

このような活動を通じて、蓄積された経験と、創出された価値を共有し、さらに発展したまちづくりを目指して「てらいけプロジェクト」がスタートしました。

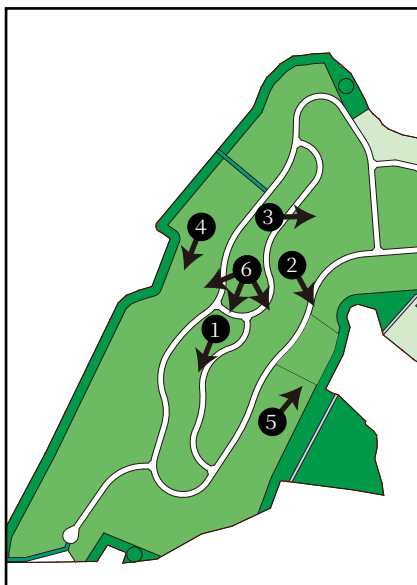


第1回現地見学会

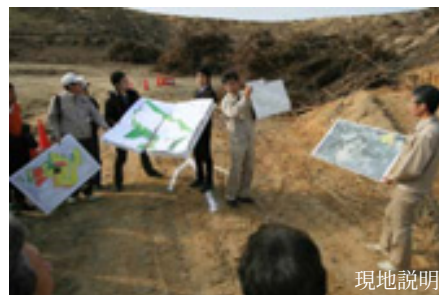
2009年11月29日(日)午後1時より、ガーデンシティ舞多聞 てらいけプロジェクト計画地の第1回目の現地見学会が行われました。天候にも恵まれ、39名の方にご参加いただきました。

まず、現地にてUR都市機構の島岡氏より模型を示しながら現地の説明がありました。現地はまだ造成が始まったばかりですが、エリア周辺の現況林に囲まれた状況や高台から望む見晴らしの良い景色を確認しました。現地からは明石海峡大橋や海が思ったより望めたとのこと感想をいただきました。

次回の第2回現地見学会では、より計画に近い状態を見学していただく予定ですので、ぜひご参加ください。



写真撮影位置図



現地説明



現地説明



1 全景



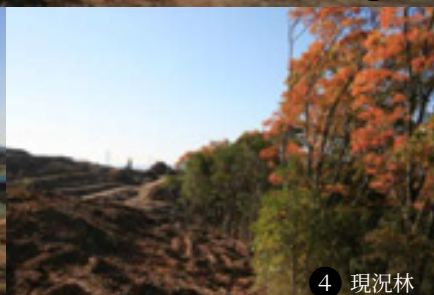
見学風景



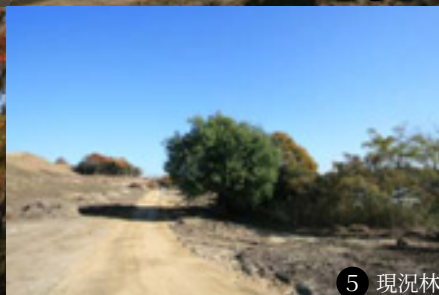
2 眺望



3 現況林



4 現況林



5 現況林

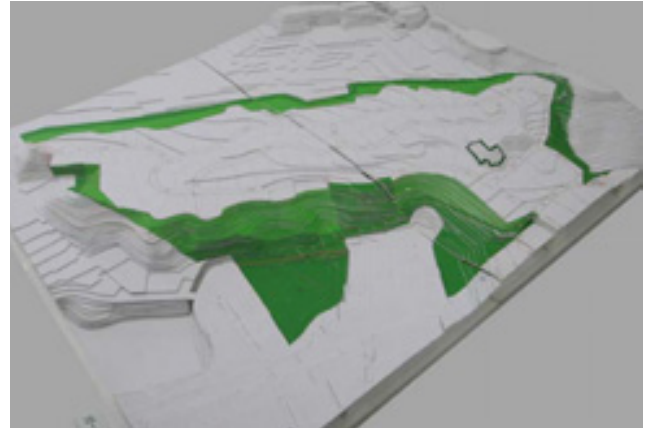


6 全景

てらいけプロジェクトの住まいのイメージ

今回の公開講座では、「新・郊外居住宣言」を紹介につづき、てらいけプロジェクトの住まいの提案(イメージ)を紹介しました。

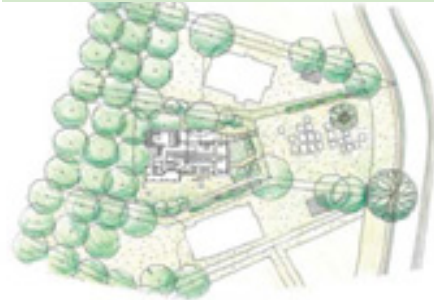
研究室では、てらいけプロジェクトにおいて、面積約300㎡～1500㎡の画地を提案しています。「広々とした庭をもつ、ゆとりある暮らし」や「樹林の中にたたずむ、美しい風景のある暮らし」、「美しい風景が望め、広いテラスのある暮らし」、「通りに表情を持つ、コンパクトで豊かな暮らし」など、バラエティに富んだ自然地住宅を提案しています。



てらいけプロジェクト模型写真

こんな暮らしを提案します

A 広々とした庭をもつ、ゆとりのある暮らし



イメージ写真

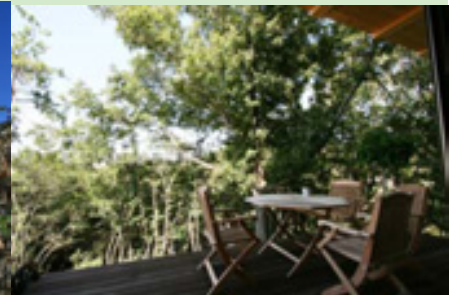


イメージ写真

B 樹林の中にたたずむ、美しい風景のある暮らし



イメージ写真



イメージ写真

C 美しい風景が望め、広いテラスのある暮らし



イメージ写真



イメージ写真

D 通りに表情を持つ、コンパクトで豊かな暮らし



イメージ写真



イメージ写真

てらいけプロジェクトのこれから

てらいけプロジェクトのエリア面積は約12haと、みついきプロジェクト(約6ha)より大きなエリアで計画が進められています。この新しい自然地住宅は、「みついきプロジェクト」で蓄積した経験とコンセプトが引き継がれ、2011年度末の宅地完成を目指して工事が進んでいます。大学とUR都市機構では、てらいけプロジェクトの「コミュニティデザイン」「スペースデザイン」「ハウジングデザイン」についての検討を、継続的に進めてきましたが、今後予定している公開講座や住民参加型ワークショップによってみなさんと一緒にまちの価値の創出を目指していきます。

特に、UR都市機構の提案する、「新・郊外居住宣言」に基づいたまちづくりを基本として、てらいけプロジェクトを進めていきます。ここでは「新・郊外居住宣言」を紹介しました。

てらいけプロジェクトのコンセプト (新・郊外居住宣言)

21世紀を迎えて、宅地の大量供給の時代は去り、都心居住の傾向が進んできていますが、郊外居住のニーズは相変わらず根強いものがあります。21世紀は、郊外ならではの魅力を評価し積極的に選択するという時代になってきています。

都市機構では、新しい郊外の暮らしについて、21世紀を中長期的に見据え、幅広い視点から検討しました。『新・郊外居住』宣言とは、これらの成果をもとに魅力ある郊外居住のあり方とその実現のための取組みの方向性が提言としてとりまとめられたものです。

提言1 日本の美しい風景を再生し創造する

21世紀の郊外のまちづくりは、居住者の自慢になり、アイデンティティになる地域固有の美しい風景を、再生し、また、創造し、必要に応じて保全していくべきであると考えます。



提言2 暮らしの中心に出会いの空間がある

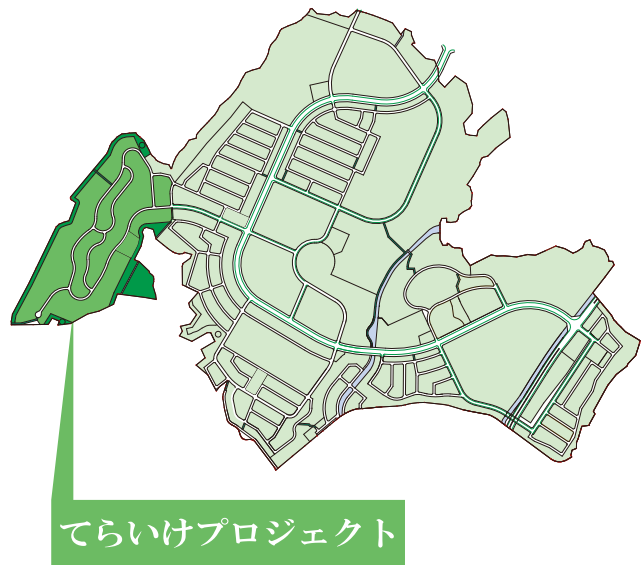
まちを育てていくための装置として、居住者の共有の空間を求心的に配置して、人々の出会いの空間のシンボルやランドマークとして機能させることが有効であると考えます。



提言3 広い庭があるゆとりの敷地に住む

暮らしを支える基本としての「家庭」=「家」+「庭」を重視するべきであると考えます。

空間的なゆとりは、精神的なゆとりを引き出します。また、広い庭は家とまちの緩やかな関係を演出し、美しい街並みを実現します。



提言4 環境に負荷を与えない生活を営む

郊外には豊富な環境資源があるので、地球環境への相当の貢献が期待されています。

国内の意識高揚を先導し、海外への訴求効果を高めるためにも、地球環境問題に意識の高い居住者と協働して、低負荷循環型の生活を実現すべきと考えます。



提言5 自分のまちを自分でつくる・育てる

事業者サイドから提供される規格品ではなく、居住者自らデザインするオリジナルなものであるべきと考えます



提言6 まちの世話人がいる

まちを育てるためには、居住者の主体的・持続的な関与と、緩やかな関係でのコミュニティの形成が前提となりますが、居住者間の意見を調整しながら行うには、専門的な知識が必要です。



提言7 豊かな生活を手頃な価格で実現する

ライフステージに応じた居住環境を実現するために、容易に住み替えができるシステムの構築が必要です。

また、相互扶助的な取り組み等により、総合的に生活コストを低減することも必要です。



公開講座における参加者の皆さんのコメント
 2009年11月29日(日) 於:神戸芸術工科大学
 当日配布されたアンケートに記入していただきました。

(自由記入欄の紹介)「てらいけプロジェクト」に期待することは？

- ・やっとという思いです。プロジェクトに参加した方は必ずてらいけに住むことが出来ますようお願い申し上げます。
- ・PJに参加して色々学んでも結局最後は抽選で外れて終りになる(前回)。希望者多いので舞多聞全体をPJの対象にして欲しい。同じ考え方に賛同する人々で町全体をまとめた方が良いのではありませんか。
- ・①木造住宅の耐震基礎、防湿と防音に有効な壁について。(提案して欲しい)②太陽光、風力など、クリーンなエネルギーを利用した住宅、地域が共同に発電し、充電し、利用する。③地下水、雨水を(庭などに)利用する住宅。水の流れる街ができないか。
- ・大変、期待(ワクワク)しています
- ・前は落選してしまい、残念でした。今回はやはり公開講座に1回でも多く参加してみたいし、参加したからには、住むことができるようにして欲しい。前は参加しにくかったのですが、今回は頑張りたいです。少し不安なのは年齢がいつにいくつあることですかね。
- ・私の自宅は、30年ほど前に住都公団の宅地債券で土地入手→住宅建設→住人の高齢化→老健施設へ移転→空家・空地→跡地は2分割され狭小住宅(日照劣化)→若い人が入居、しかし向う三軒両隣りとつき合おうとしない。⇒この様なパターンにならない居住環境のところ、にぎわいのあるところに住み替えたいものです。
- ・グリーンを出来るだけ多く残して自然を保全してほしい。
- ・電柱のない町。
- ・①「みつつけ」プロジェクトでとられた「定借」方式を希望する。(できるだけ安価であること、買取り方式をとること)②「みつつけ」プロジェクトのグループ制はとらないこと③「みつつけ」プロジェクトの無電柱、共同溝を希望する(一定の土地供出賛成)
- ・質問にもありましたが、年とともに変化する様々な事に対応出来るしくみをお願いしたいと思います。
- ・街造りの中で、建基法などの規制と個々の対コストバランスもある中で、今後どの様に型造られていくのか楽しみであります。
- ・自然の中で暮したいと長年思っていますが、仕事からはのがれられません。ここは立地的に理想通りです。勉強させていただきます。
- ・店舗用地(薬局)を望んでいます。

以上、多くのご意見ありがとうございました。みなさまのご意見をみなさんといっしょにてらいけプロジェクトのまちづくりに活かしていくように今後の公開講座・ワークショップを行っていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくおねがいたします。

次回の予告

次回の第2回てらいけプロジェクト公開講座は2009年2月下旬～3月中旬を予定しています。神戸芸術工科大学準教授・佐々木宏幸による「(仮)ガーデンシティ舞多聞新しい住まい方の提案」では、世界の先進事例をご紹介しながら、てらいけプロジェクトのまちづくりや住まいづくりの講義を予定しています。会場は神戸芸術工科大学を予定しています。

詳細は後日、郵送・ホームページにてご案内させていただきます。

ガーデンシティ舞多聞てらいけプロジェクトスケジュール(予定)

今後の予定について、以下の図で紹介させていただきます。

てらいけプロジェクトはH23年度末の現地完成を目標に現在工事を進めております。

H21年度末からH23年度にかけては、公開講座・ワークショップを開催し、みなさまと一緒にてらいけプロジェクトのまちづくりを進めていく予定です。



※注:現時点での計画であり今後変更する場合があります。